学校番号	1015

令和８年度　理科

教科	理科	科目	（学）環境科学	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

２年生で学んだ科学と人間生活の知識をもとに、私たちの身の回りにある環境問題について学びます。
・ワークシートには指示された内容だけでなく、自分で大切と思ったことや、疑問に思ったことなどをメモするようにしましょう。
・自分の考えを書く場面では、考えがまとまっていなくてもできるだけ白紙は避け、考えることができたところまでを記入するようにしましょう。
・映像教材を見るときは、メモをとり、考えながら見るように努めてください。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・身の周りに様々な環境があることを理解し、科学的に調査するための実験的手法を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
・身近な環境問題を通じて自分自身との関わり、社会との関わりを考え、解決していくための方法を模索する。
【学びに向かう力、人間性等】
・持続可能な社会を作るために社会・国・地域・家庭・個人それぞれのレベルで必要なことを主体的に理解しようと努め、自分にできることを把握し、前向きな行動に移すことができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	環境とは何か、身の周りに様々な環境があることを理解している。また、身の回りの環境を科学的に調査するための実験的手法を身につけている。各種の地球環境問題について、現状とその原因、講じられている対策を理解している。	身近な環境問題を通じて自分自身との関わり、社会との関わりを考え、解決していくための方法を模索できている。	持続可能な社会を作るために社会・国・地域・家庭・個人それぞれのレベルで必要なことを主体的に理解しようと努め、自分にできることを把握し、前向きな行動に移すことができている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	環境について知ろう	環境概論 地球の成り立ちと構造 ・大気構造 ・水環境 ・森林 生態系 ・生物の多様性 ・物質循環	a: 地球の成り立ちと構造や生態系、身の周りに様々な環境があること理解しているとともに、身の回りの環境を科学的に調査するための実験的手法を身につけている。 b: 身の回りの環境について、観察、実験などを通して探究し、科学的に考察して表現している。 c: 地球の成り立ちと構造や生態系、身の回りの環境について主体的に探究し、試行錯誤しながら学習に取り組んでいる。	確認ﾃｽﾄ 考査	ﾜｰｸｼｰﾄ 実験ﾌﾟﾘﾝﾄ 考査	ﾜｰｸｼｰﾄ 実験ﾌﾟﾘﾝﾄ 観察
2学期	地球環境問題について知ろう	地球環境問題 ・大気汚染 ・水質汚染 ・土壌汚染 ・人口問題 ・地球温暖化 ・エネルギー問題 資源の再生	a: 各種の地球環境問題について、現状とその原因、講じられている対策について理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。 b: 各種の地球環境問題について、観察、実験などを通して探究し、科学的に考察して表現している。 c: 各種の地球環境問題について主体的に探究し、試行錯誤しながら学習に取り組んでいる。	確認ﾃｽﾄ 考査	ﾜｰｸｼｰﾄ 実験ﾌﾟﾘﾝﾄ 考査	ﾜｰｸｼｰﾄ 実験ﾌﾟﾘﾝﾄ 観察

3学期	環境小論文を書こう	環境小論文の作成	a:インターネットを活用して情報収集を行う方法や注意点を理解し、小論文を書くために必要な情報を収集できている。また、文書作成ソフトを用いて自分の考えた内容を小論文にまとめることができている。 b: 身近な環境問題を通じて自分自身との関わり、社会との関わりを考え、解決していくための方法を模索できている。 c: 持続可能な社会を作るために社会・国・地域・家庭・個人それぞれのレベルで必要なことを主体的に理解しようと努め、自分にできることを把握し、前向きな行動に移すことができている。	レポート	レポート	レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度